

# DENSO

Crafting the Core

部品 - 解答編

## サンプルデータのIMDS入力について

IMDS : International Material Data System

- ・本資料では、『サンプルデータのIMDS入力について』の『問題編』に対する回答となります。
- ・本資料を参考にして、IMDSデータの作成方法をご確認ください。

(株)デンソー  
技術開発推進部

2017年 10月 1日

# 目次

データ作成の概要	...	P3
データ作成の詳細	...	P5
<b>1. 子部品 (UPPER BOX) のデータの作成</b>		
①子部品の情報の入力	...	P5
②子部品へ材料の参照	...	P8
③子部品のサプライヤー情報の設定	...	P11
④子部品の社内送信	...	P12
<b>2. 親部品 (CASE ASSY) のデータの作成</b>		
⑤親部品の情報の入力	...	P14
⑥親部品へ子部品の参照	...	P16
⑦親部品へ子部品の追加	...	P21
⑧親部品のサプライヤー情報の設定	...	P24
⑨親部品の送信	...	P25

本練習問題の入力結果のサンプルは、公開データとして確認できるようにしています。

**ID/バージョン 772483266 / 1 (CASE ASSY) 、774035763 / 1 (UPPER BOX)**

※資料中のIMDS ID/Versionの数字は、IMDSのシステムから任意の番号が発行されるため、本資料とは異なる数字となります。

※資料中のIMDS画面では、上記と異なるIDが表示されている場合があります。

# データ作成の概要

・本資料では、以下の順番で入力例を説明します。

## 1. 子部品（UPPER BOX）のデータの作成

### ①子部品の情報の入力

・品番、品名、質量を入力します。

### ②子部品へ材料の参照

・部品に材料を追加するときは、あらかじめIMDS上に登録されている材料を参照します。


子部品データを確定させるためには、サプライヤー情報を設定し、社内送信する必要があります。






### ③子部品のサプライヤー情報の設定

・データの問合せ担当者（コンタクトパーソン）を選定します。

### ④子部品の社内送信

・社内送信をすることで、データを確定（修正できない状態）します。

 **UPPER BOX**    ①子部品の情報の入力

	母材金属：SPCC	②子部品へ材料の参照
	亜鉛メッキ	
	3価クロメート（黒）	③子部品のサプライヤー情報の設定
	リン酸亜鉛処理	
	エポキシ樹脂	④子部品の社内送信

## 2. 親部品 (CASE ASSY) のデータの作成

### ⑤親部品の情報の入力

- ・品番、品名、質量を入力します。

親部品の下に、子部品を配置するには、(A) 参照と (B) 追加の2つの方法があります (詳しくは、P16参照)。

⑥親部品へ子部品の参照 (A) では、I で作った子部品のデータを参照し、親部品の下に付けます。

⑦親部品へ子部品の追加 (B) では、親部品の下に、子部品を作り、品番、品名、質量を入力、材料も参照します。

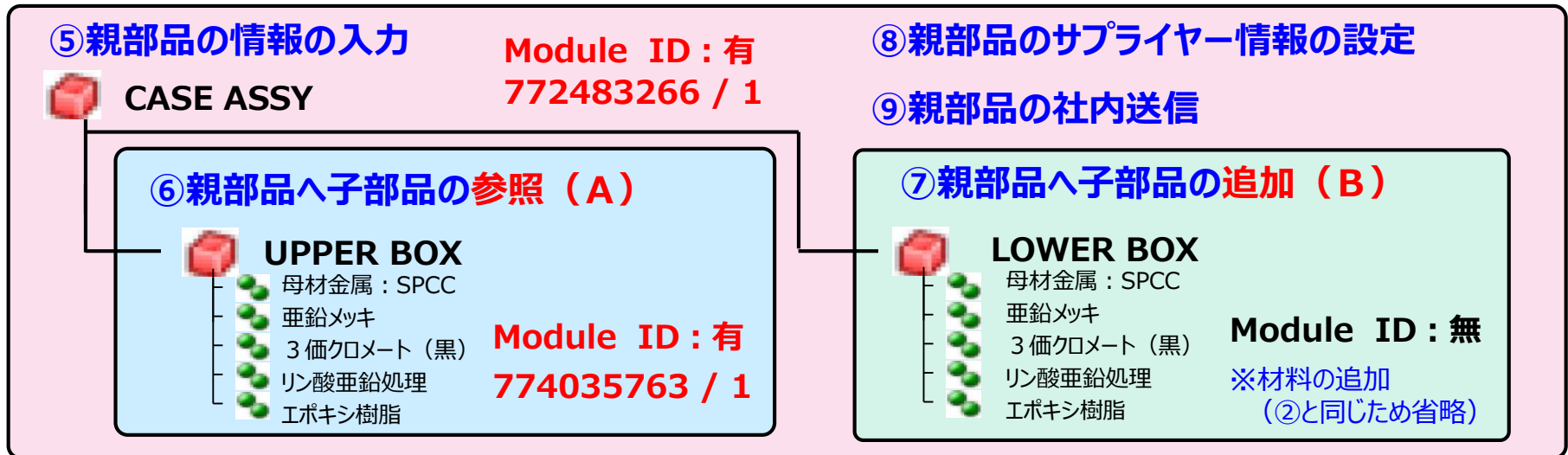
親部品データを送信するためには、サプライヤー情報を設定し、送信操作をする必要があります。

### ⑧親部品のサプライヤー情報の設定

- ・データの問合せ担当者 (コンタクトパーソン) を選定します。

### ⑨子部品の社内送信


- ・送信先企業ID・組織IDを設定し、送信操作をします。



# データ作成の詳細

## 1. 子部品 (UPPER BOX) のデータの作成






これから、子部品のデータの作成方法を説明します。

**UPPER BOX**

**①子部品の情報の入力**

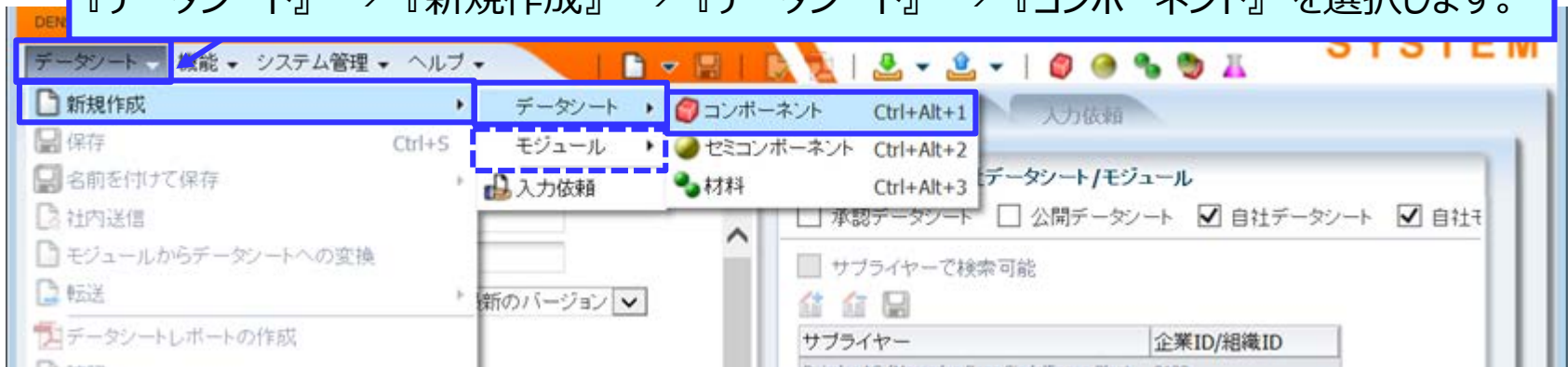
・ここでは、この部分を説明します。

<ul style="list-style-type: none"><li> 母材金属：SPCC</li><li> 亜鉛メッキ</li><li> 3価クロメート（黒）</li><li> リン酸亜鉛処理</li><li> エポキシ樹脂</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li><b>②子部品へ材料の参照</b></li><li><b>③子部品のサプライヤー情報の設定</b></li><li><b>④子部品の社内送信</b></li></ul>
---	--

### ①子部品の情報の入力

『データシート』 → 『新規作成』 → 『データシート』 → 『コンポーネント』 を選択します。



(1)部品名称に、『Component\_\*\*\*\*\*』がデフォルトで入力されますので、  
子部品の品名『**UPPER BOX**』に書き換えます。

保存ボタンで適宜、保存します。(※)

データの呼び出しができるように、  
**IMDS ID / Version**  
『**774035763 / 0.01**』を記録します。  
※毎回、新しいIMDS IDが発行されます。

部品名称 **UPPER BOX** \*

部品番号 **0009100100**

部品質量 **3.0 g** \*

(2)品番を入力します。この場合：**0009010100**  
※デンソーからの依頼通りの品番をご記入ください。(ハイフン無しでお願いします。)

(3)部品質量入力します。この場合：**3.0 g**

- ・以上で部品データを作ることができました。
- ・IMDSは、操作をしないで数分経つと自動的に閉じる場合がありますので、適宜、保存してください。

# <参考> IMDS ID (Module ID / Version)、Node ID

・IMDSでは、データ毎にIDを付与して、特定できるようにしており、以下の2種類があります。

## <IMDS ID (Module ID / Version)>

・Module IDとVersionから成り、123456789 / 1 のように表記されます。

設変、更新等で同じ品番の場合、同じModule IDで、Versionの大きなデータを作成します。

・データが小数のときは、データを変更可能です。Versionが整数のときは、データを変更できません。

※社内送信、全送信するとVersionが小数から整数になります。また、納入先が承認すると、データの変更ができなくなるため、Versionが小数から整数になります。

## <Node ID>

通し番号のような概念で同じ番号はありません。Node ID：123456789 のように表記されます。


・部品・・・データシートのTOPに**Module ID / Version**、**Node ID**が設定されます。

・材料・・・データシート毎に**Module ID / Version**、**Node ID**が設定されます。

・化合物・・・化合物毎に**Node IDのみ**が設定されています。（通常の画面では、表示されません。）

# ②子部品へ材料の参照


・以下の例を用いて、部品にIMDSコミッティ材料を追加する手順を説明します。SPCCを例に説明します。

**UPPER BOX**

- 母材金属 : SPCC
- 亜鉛メッキ
- 3価クロメート (黒)
- リン酸亜鉛処理
- エポキシ樹脂

・ここでは、この部分を説明します。

## ②子部品へ材料の参照



(1)材料を追加する部品を右クリックします。

(2)プルダウンメニューで『追加』を選択します。

(3)プルダウンメニューで『材料』を選択します。

(4)材料の検索ウィンドウが開かれます。→ 次ページ

### <IMDSコミッティ材料とは>

- ・IMDSにおける標準材料のことをいいます。
- ・EU (EN・DIN規格等)、日本 (JIS規格)、アメリカ (ASTM規格・UNS規格)、ISO規格などの公的規格材料がIMDSコミッティ材料として登録されており、IMDSコミッティ材料は、IMDSのエラーチェックが免除されます。



- ・JIS規格などで規定された材料で、JAMAシート外部リストに登録されている材料のある場合は、IMDSコミティ材料を使ってください。
- ・海外納入先から、IMDSコミティ材料を使うように修正依頼を受ける場合があります。その場合は、IMDSコミティ材料への置換えをお願いすることがあります。

・JAMAシート外部リスト登録材料の確認方法：P17



(1)材料名称に『SPCC』、IDに『11865924』を入力します。

(2)公開データシートに『レ』、サプライヤーで検索可能、標準材料データシートに『レ』を入れます。

(3)『検索』をクリックします。

(4)検索結果が複数ある場合、最新バージョンを選択し、ハイライトさせます。

(5)『適用』をクリックします。

他社データシート, 自社データシート/モジュール

承認データシート  公開データシート  自社データシート

サプライヤーで検索可能  推奨材料データシート

サプライヤー	企業ID/組織ID
IMDS-Committee	423
IMDS-Committee / ILI Metals	18986
Stahl und Eisen Liste	313

サブライヤーに以下の3つを表示されていること。  
IMDS companies: IMDS-Committee (423)  
IMDS-Committee/ILI Metals (18986)  
Stahl und Eisen Liste (313)

タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー	受信済みの規制情報の 依頼
	SPCC	-	-	SPCC	-	11895924 / 5	IMDS-Committee / ILI Metals	-

選択行 1

適用 キャンセル

(1)材料『SPCC』が追加されます。

※クリックすることで、化合物成分が表示されます。

(2)質量を入力します。この場合、**2.6g**

※JIS規格の番号が記入されています。

UPPER BOX

- 2.6g SPCC
  - 0.0 - 0.15% Carbon
  - 残部 99.3575% Iron
  - 0.0 - 1.0% Manganese
  - 0.0 - 0.1% Phosphorus
  - 0.0 - 0.035% Sulphur

詳細

材料の言語 英語

▼ 共通情報

タイプ 材料 (公開データシート)

ID/バージョン 11895924 / 5

ノードID 671590420

サプライヤー IMDS-Committee / ILI Metals

名称 SPCC

商品名 -

社内材料コード -

量産準備初期段階の「事前申 しいえ

7/07/20

確認/リリース日 2017/07/20 レコメンデーション

▼ 数量と質量

質量 2.6 g

▼ 材料情報

SPCC

1.1 unalloyed, low alloyed

公的 material 規格

企業	材料規格	材料規格コード
-	JIS	G3141

→ 他の材料も同様に追加します。(以下、省略)  
材料の詳細情報は、末尾に掲載しました。

### ③子部品のサプライヤー情報の設定

・ここまでの状態では、バージョンが小数となっています。バージョンが小数のときは、データの修正が可能なため、部品データに用いる（参照する）ことができません。社内送信をして、バージョンを整数にします。（バージョンを整数にすることをIMDSでは、リリースするといいます。）

(1) サプライヤー情報タブを選択します。

この状態は、部品のデータのバージョンが小数です。

(2)プルダウンメニューで、コンタクトパーソンを選択します。

Supplier Taro

・IMDSでは、データシート毎にサプライヤー情報（コンタクトパーソン）の登録が必要です。

# ④ 子部品の社内送信

- ・自社データを作成し、これ以上データの内容を編集する必要がなく確定する際に社内送信します。データを送信する場合、トップノードは社内送信しないで送信可能ですが、参照している個々のデータは社内送信しておく必要があります。
- ・社内に複数の部署のあるとき、部署間のデータの受け渡しにおいて、データを確定した状態で、他部署に報告（社内送信）することができるようになります。

(1)送信先情報タブを選択します。

送信先情報

※IMDS ID のVersionは小数です。

(2)『社内送信』ボタンをクリックします。

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

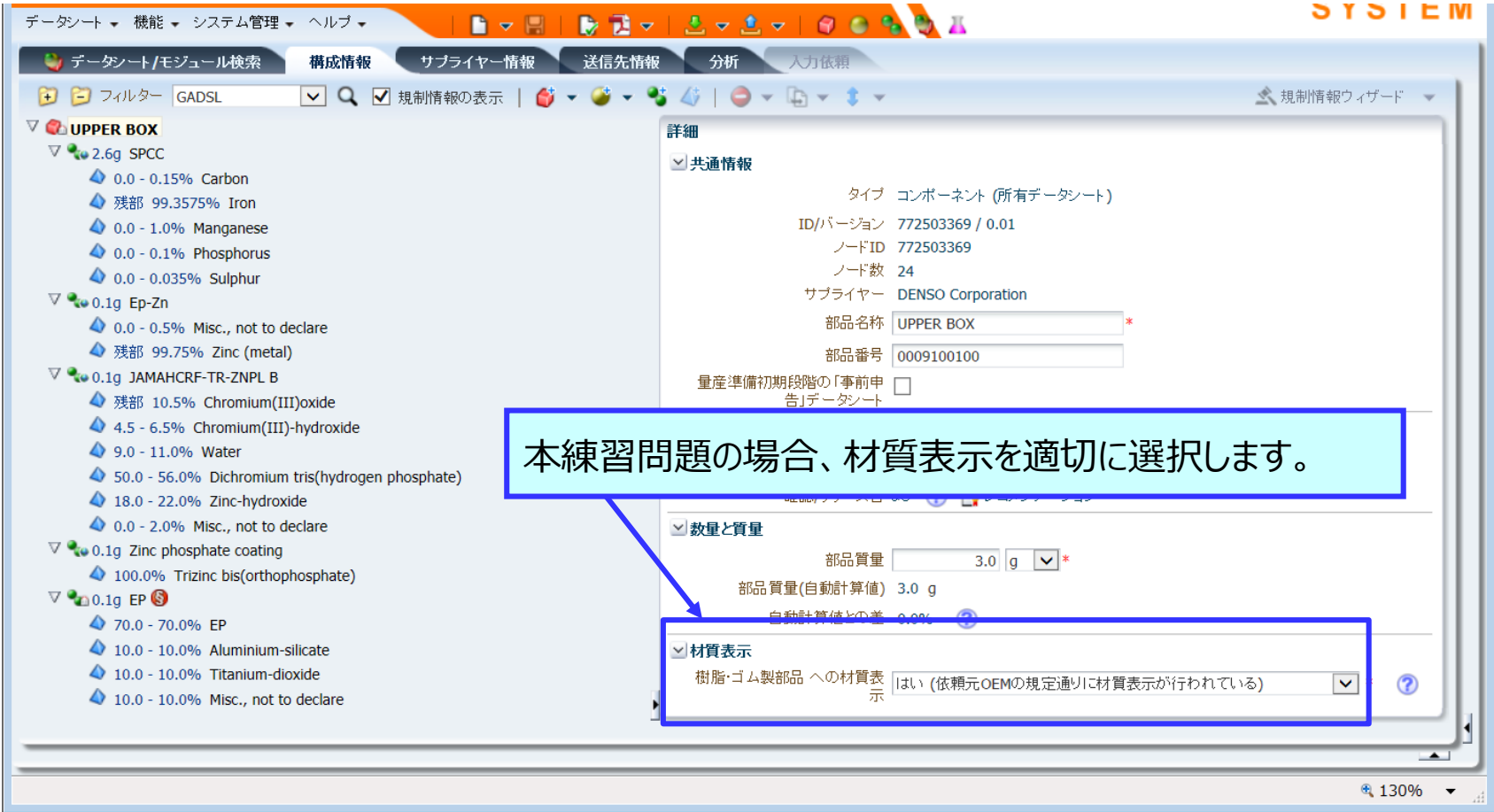
確認結果  
データシートは全てのチェックに合格しました。  
このデータシートを社内送信しようとしています。続けますか？

社内送信

(3)『社内送信』ボタンをクリックします。

(4) IMDS ID / VersionのVersionが整数になります。

# 材料を全て（5つ）追加した UPPER CASEのデータ



## 2. 親部品 (CASE ASSY) のデータの作成

### ⑤親部品の情報の入力


・ここでは、この部分を説明します。

 CASE ASSY

### ⑥親部品へ子部品の参照 (A)

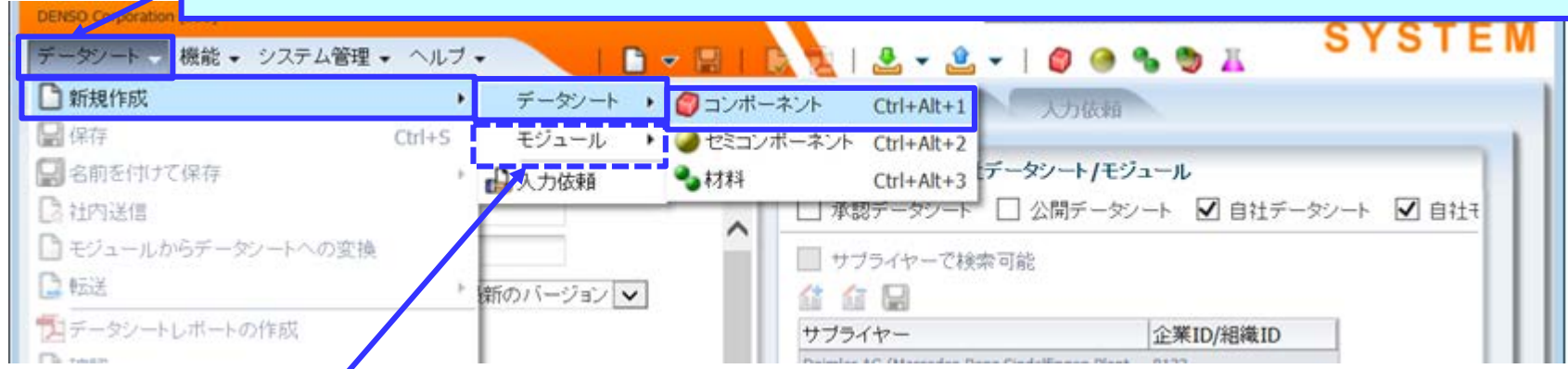
 UPPER BOX

### ⑦親部品へ子部品の追加 (B)

 LOWER BOX

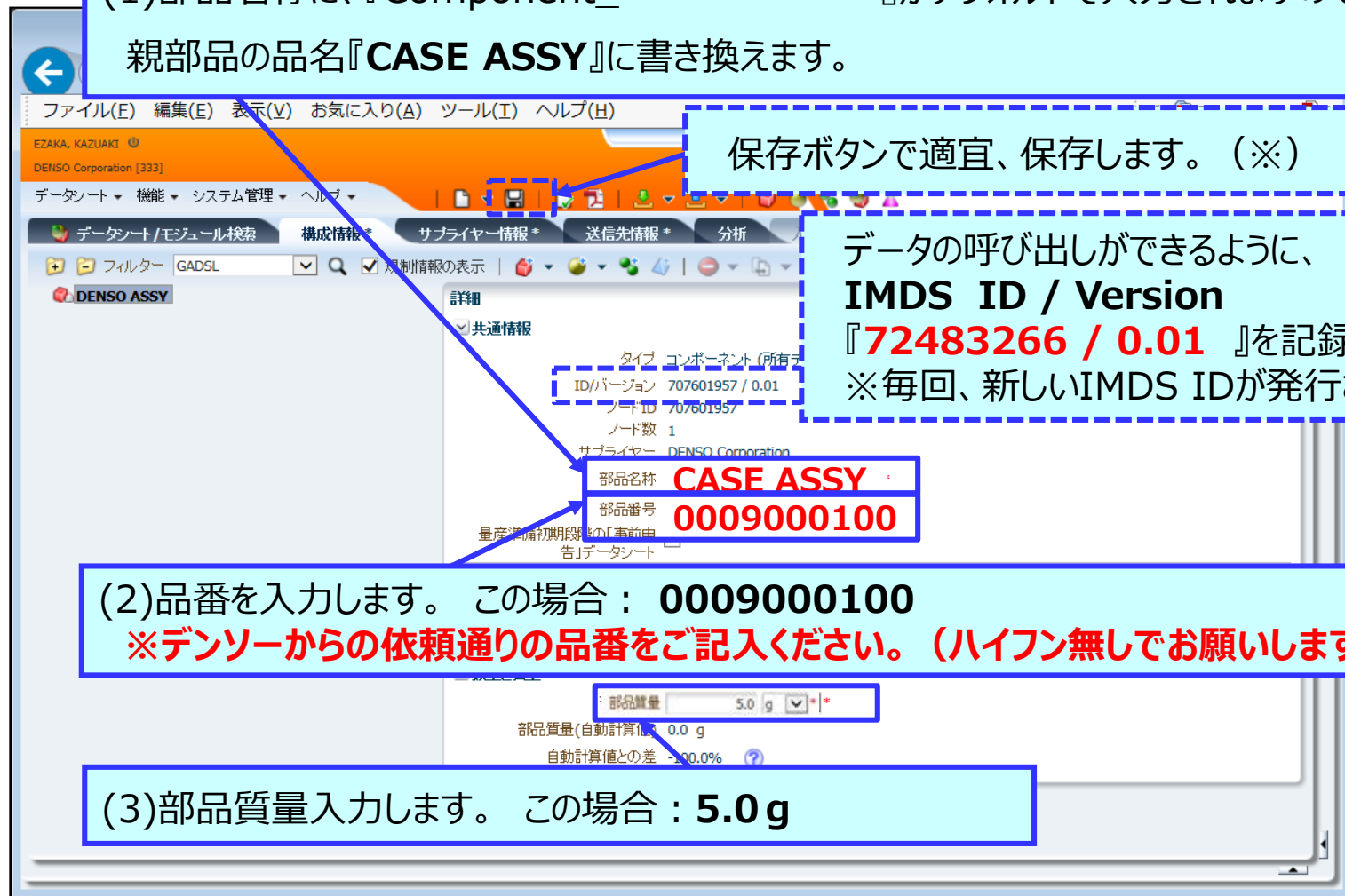
### ⑤親部品の情報の入力

『データシート』 → 『新規作成』 → 『データシート』 → 『コンポーネント』 を選択します。



※モジュールでは、他の企業/組織に送信できませんので、必ず、データシートを選択してください。

(1)部品名称に、『Component\_\*\*\*\*\*』がデフォルトで入力されますので、親部品の品名『**CASE ASSY**』に書き換えます。



(2)品番を入力します。この場合：**0009000100**  
※デンソーからの依頼通りの品番をご記入ください。(ハイフン無しでお願いします。)

(3)部品質量入力します。この場合：**5.0g**

- ・以上で部品データを作ることができました。
- ・IMDSは、操作をしないで数分経つと自動的に閉じる場合がありますので、適宜、保存してください。

## ⑥親部品へ子部品の参照

### ⑤親部品の情報の入力



CASE ASSY

・ここでは、この部分を説明します。

### ⑥親部品へ子部品の参照 (A)



UPPER BOX

### ⑦親部品へ子部品の追加 (B)



LOWER BOX

・既に登録されている部品情報を参照することで部品の下に部品を追加することを説明します。  
※自社内で作成した部品データでも参照するだけでなく、1次仕入先様が2次仕入先様から入手した部品データもこの方法で参照して組み付けることが可能です。

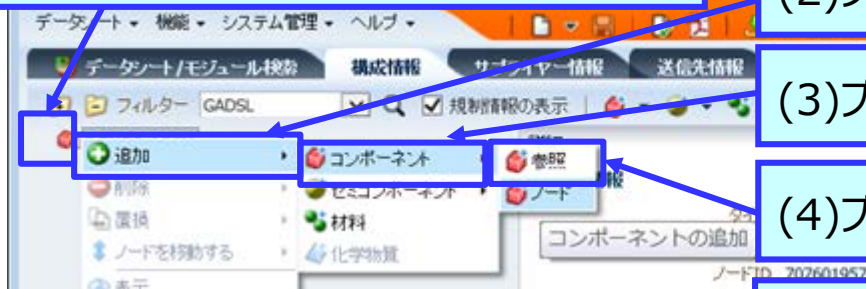
(1)部品を追加する部品を右クリックします。

(2)プルダウンメニューで『追加』を選択します。

(3)プルダウンメニューで『コンポーネント』を選択します。

(4)プルダウンメニューで『参照』を選択します。

(5)部品の検索ウィンドウが開かれます。→ 次ページ





・部品の検索ウィンドウが開かれます。

(1) IDに自社部品の**Module ID**を入力します。

『**1. 子部品 (UPPER BOX) のデータの作成**』で作った部品です。

この場合：**774035763**

部品名称  
部品番号  
ID 709960848 最新のバージョン

承認データシート  公開データシート  自社データシート  自社モジュール  
 サプライヤーで検索可能  
サプライヤー 企業ID/組織ID

(2) 自社データシート、自社モジュールに『レ』が入っていることを確認します。

(3) 『検索』をクリックします。

(4) 部品データが表示されるのを確認します。この場合：**UPPER BOX**

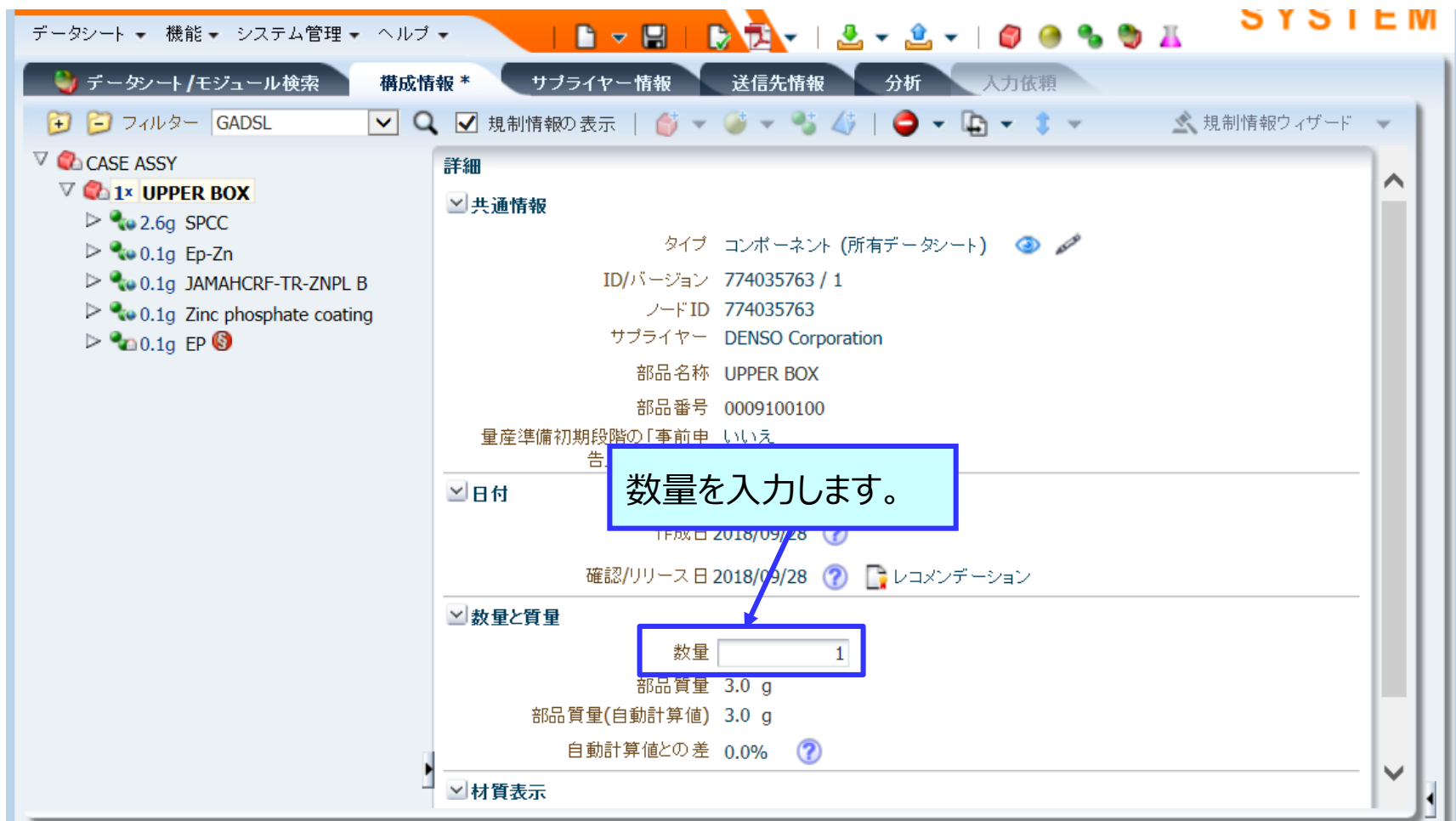
タイプ	部品名称	部品番号	ID/バージョン	サプライヤー	受信済みの規制情報の 状況	最初の依頼日
	<b>UPPER BOX</b>	SUP-02	709960848 / 1	DENSO Corporation	-	-

(5) 『適用』をクリックします。

メニュー 見つかったデータ 1  
適用 キャンセル

→ 部品が追加されました。

部品 1 に部品 2 を組み付けました。



The screenshot shows the DENSO SYSTEM software interface. The left sidebar displays a tree view under 'CASE ASSY' with '1x UPPER BOX' selected. The main panel shows the '詳細' (Details) view for the 'UPPER BOX' component. A callout box with a blue border and white background contains the text '数量を入力します。' (Enter quantity.) with an arrow pointing to the '数量' (Quantity) input field, which currently contains the value '1'. Other fields include 'ID/バージョン' (774035763 / 1), 'ノードID' (774035763), 'サプライヤー' (DENSO Corporation), '部品名称' (UPPER BOX), and '部品番号' (0009100100). The '数量と質量' (Quantity and Mass) section shows '部品質量' (3.0 g) and '部品質量(自動計算値)' (3.0 g). The '材質表示' (Material Display) section is also visible.

# <参考> 部品データの追加と参照の違い

追加方法の違いによるデータの違いを比較して説明します。

## (A) 参照した子部品：データシート

- ・参照した子部品は、他の部品でも使うことができます。  
※仕入先から受信したデータのトップの品番は、データシートになっており参照が可能です。

### <親部品の下に、子部品のデータシートを参照して追加した場合>

▼ DENSO ASSY  
▷ 1× SUPPLIER PART  
▷ 0× SUPPLIER PART

詳細  
▼ 共通情報

タイプ コンポーネント (所有データシート)

ID/バージョン 709960848 / 1  
ノードID 709960848  
サプライヤー DENSO Corporation  
部品名称 SUPPLIER PART  
部品番号 SUP-02

※ IMDS ID / Version : 709960848/1の部品を先に登録しておき、参照して追加しました。  
※他の部品でも参照が可能です。

### 『⑥親部品への子部品の参照』で説明

## (B) 追加した子部品：ノード

- ・追加した子部品には、Module ID、Node IDがないため、他の部品で参照（使用）できません。  
そのデータシートの中でのみで部品として使われます。  
このため、他の部品にも使う場合は、データシートとして作る必要があります。

### <親部品の下に、ノードの追加で作成した場合>

▼ DENSO ASSY  
▷ 1× SUPPLIER PART  
▷ 0× SUPPLIER PART

詳細  
▼ 共通情報

タイプ コンポーネント (ノード)

部品名称 SUPPLIER PART  
部品番号 SUP-01

※この部品構成のみで使われる部品となります。

### 『⑦親部品への子部品の追加』で説明

## 【仕入先様へのお願い事項】

仕入先様の複数の納入部品に頻繁に使われる部品や材料につきましては、ノード形式ではなく、データシート/モジュールの形式  
(IMDS ID : Module ID / Versionのあるデータ)  
でデータを作成されますと、IMDS 報告をする上で便利です。  
  
仕入先様にて、あらかじめご用意されることをお勧めします。

# ⑦親部品への子部品の追加

## ⑤親部品の情報の入力


 CASE ASSY

・ここでは、この部分を説明します。

## ⑥親部品へ子部品の参照 (A)

 UPPER BOX

## ⑦親部品へ子部品の追加 (B)

 LOWER BOX

・以下の例を用いて、親部品の下に子部品を追加して、部品構成を作成する方法を説明します。  
この方法で部品を追加する場合、比較的簡単に追加できますが、他の部品では使うことができませんのでご注意ください。

①部品を追加する部品 (  DENSO ASSY) を右クリックします。



②プルダウンメニューで『追加』を選択します。

③プルダウンメニューで『コンポーネント』を選択します。

④プルダウンメニューで『ノード』を選択します。

(4)部品名称に、『Component\_\*\*\*\*\*』がデフォルトで入力されますので、  
デンソー品名『**LOWER BOX**』に書き換えます。

保存ボタンで適宜、保存します。

データタイプが『ノード』となります。

(2)空欄にデンソー品番を入力します。  
この場合：**0009200100**

(3)数量を入力します。この場合：1個

(4)部品質量を入力します。  
この場合：**2.0g**

The screenshot shows a software interface for data entry. On the left, a tree view shows a hierarchy: CASE ASSY > UPPER BOX > LOWER BOX. The main area displays details for the selected component. The '共通情報' (General Information) section shows 'タイプ' (Type) as 'コンポーネント (ノード)' (Component (Node)). Below this, there are input fields for '部品名称' (Component Name) containing 'LOWER BOX' and '部品番号' (Component Number) containing '0009200100'. The '数量と質量' (Quantity and Mass) section shows '数量' (Quantity) as '1' and '部品質量' (Component Mass) as '2.0 g'. Below these, it shows '部品質量(自動計算値)' (Component Mass (Auto-calculated value)) as '0.0 g' and '自動計算値との差' (Difference from auto-calculated value) as '-100.0%'. A '保存' (Save) button is visible in the top toolbar.

※ノードには、IMDS ID / Version はありません。

※『②子部品へ材料の参照』と同様に、材料を組み付けていきます。

部品 1 に部品 2、部品 3 を組み付けました。

データシート / モジュール検索 | 構成情報 \* | サプライヤー情報 \* | 送信先情報 | 分析 | 入力依頼

フィルター: GADSL | 規制情報の表示 | 規制情報ウィザード

**CASE ASSY**

- 1x UPPER BOX
  - 2.6g SPCC
  - 0.1g Ep-Zn
  - 0.1g JAMAHCRF-TR-ZNPL B
  - 0.1g Zinc phosphate coating
  - 0.1g EP
- 1x LOWER BOX
  - 1.6g SPCC
  - 0.1g Ep-Zn
  - 0.1g JAMAHCRF-TR-ZNPL B
  - 0.1g Zinc phosphate coating
  - 0.1g EP

**詳細**

**共通情報**

タイプ: コンポーネント (所有データシート)

ID/バージョン: 772483266 / 0.01

ノードID: 772483266

ノード数: 49

サプライヤー: DENSO Corporation

部品名称: CASE ASSY \*

部品番号: 0009000100

量産準備初期段階の「事前申告」データシート

**日付**

作成日: 2018/09/21 ?

確認/リリース日なし ? | レコメンデーション

**数量と質量**

部品質量: 5.0 g \*

部品質量(自動計算値): 5.0 g

自動計算値との差: 0.0% ?

## ⑧親部品のサプライヤー情報の設定

・弊社に対してデータを送信するためには、サプライヤー情報の設定が必要です。

※Versionが整数でなくても、弊社に対して送信することが可能です。

(1) サプライヤー情報タブを選択します。

データシート | 機能 | システム管理 | ヘルプ

データシート/モジュール検索 | 構成情報 | **サプライヤー情報\*** | 送信先情報 | 分析 | 入力依頼

名称 UPPER BOX | ID/バージョン 772503369 / 0.01 | ノードID 772503369 | ステータス 編集モード

企業

企業 DENSO Corporation | 組織 DENSO Corporation

企業ID 333

DUNS

会社

コンタクトパーソン

コンタクトパーソン **Supplier Taro**

Eメール KAZUHIKO\_EZAKI@denso.co.jp

電話番号 +81-566-25-5972

FAX番号 +81-566-25-4546

・IMDSでは、データシート毎にサプライヤー情報 (コンタクトパーソン) の登録が必要です。

130%



## ⑨親部品の送信

### (1) 送信先企業IDの設定

- ・IMDSでは、システム内で企業間のデータの送信／受信を行います。
- ・送信先情報にデータを送信する企業IDを入力します。
- ・**デンソーに対して報告する場合、企業ID：333**を入力してください。

**送信先企業ID**  
デンソー 企業ID：333  
企業名称：DENSO Corporation

①送信先の追加アイコンをクリックします。

②企業ID：333を入力します。

③検索をクリックします。

④該当するものが表示されますので選択します。

⑤適用をクリックします。

企業名	企業ID
DENSO Corporation	DENSO Corporation 333

## (2) 送信先情報の設定

MATERIAL DATA SYSTEM

DENS0 Corporation [333]

データシート / モジュール検索 | 構成情報 | サプライヤー情報 \* | 送信先情報 \* | 分析 | 入力依頼

名称 DENS0 ASSY | ID/バージョン 707601957 / 0.01 | ノードID 707601957 | ステータス 編集モード

送信 | 全送信 | 社内送信 | 公開

17/12/11

送信先情報

企業 DENS0 Corporation [333]

送信先ステータス 編集モード

サプライヤーコード

名称 DENS0 ASSY

部品番号

送受信確認日 なし

転送許可

(1)送信情報が入力されました。

(2)サプライヤーコードを入力します。  
今回のサンプルデータの入力では、  
『-』ハイフンを入力してください。

(3)転送許可にチェック (レ) をお願いします。

## (3) 送信操作

- ・送信ボタンをクリックします。



### <ご注意>

- ・弊社に対して、本練習問題のデータを送信しないでください。

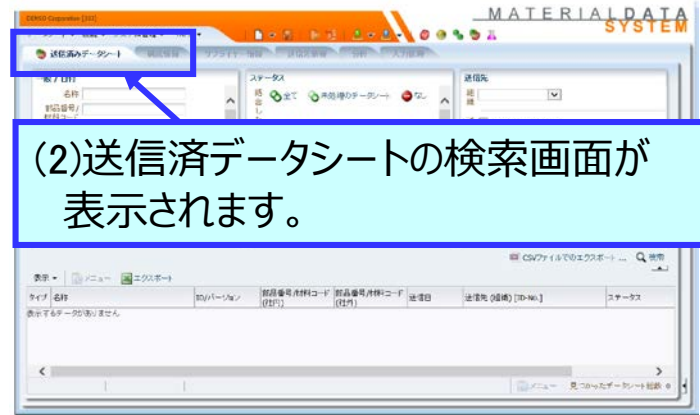
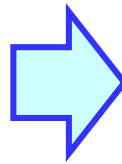
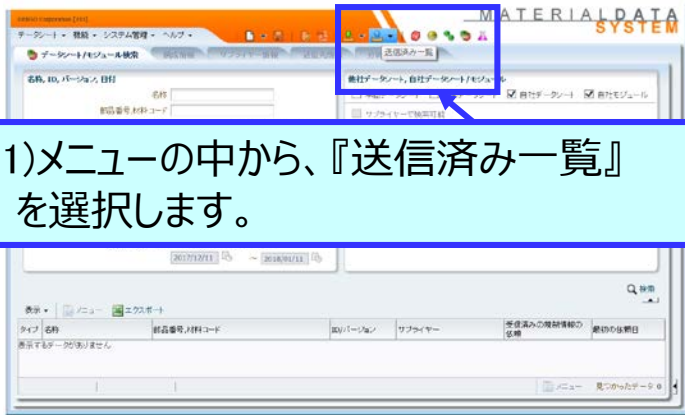
***DENSO***

Crafting the Core

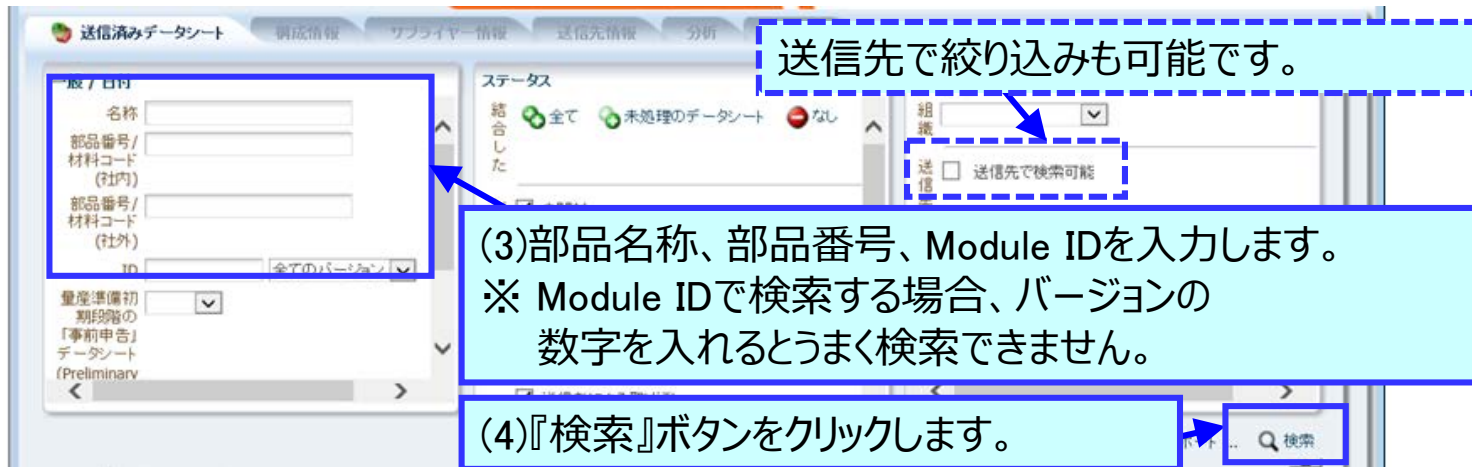
# <参考> データのステータスの確認（承認、否認）

- ・IMDSでは、送信先に提出したデータが承認されたかどうか、システム上で確認することができます。
- ・送信したデータの納入先での状況（ステータス：承認、拒否等）は、『送信済み一覧』から確認します。

## <検索方法>



- ・送信済データシートの検索画面で、部品名称、部品番号、Module IDにより検索します。



## <検索結果>

タイプ	名称	ID/バージョン	部品番号/材料コード (社内)	部品番号/材料コード (社外)	送信日	送信先 (組織) [ID-No.]	ステータス	最終ステータス実更日
ASSY-EXH TEMP	ASSY-EXH TEMP							
ASSY-EXH TEMP	ASSY-EXH TEMP							
AY-HEADUP	AY-HEADUP							
ASSY-EXH TEMP	ASSY-EXH TEMP							

① 検索結果が表示されたら、該当データが承認されているか確認します。



② 『送信先情報』を表示させます。

③ 『拒否の理由』が表示されます。

# <参考> 承認

・IMDSでは、サプライヤーから入手したデータについて、内容を確認し、システム上で承認・否認を行います。

## 対象データの検索

①受信済み一覧を選択します。

②検索条件を入力します。

初期画面の『データシート/モジュール検索』で検索をはじめると、承認操作ができませんのでご注意ください。

③検索ボタンを押します。

④検索結果が出力されます。

⑤対象データを選択し、ダブルクリックします。

The screenshot shows the '受信済み一覧' (Received List) screen in the IMDS system. The interface is divided into several sections:

- 検索条件 (Search Conditions):** Includes fields for '名称' (Name), '部品番号,材料コード' (Part Number, Material Code), 'ID', and '開発バージョン' (Development Version). There are also checkboxes for '送受信日(送信/全送信)' (Transmission/All Transmission) and '最終ステータス変更日' (Final Status Change Date).
- ステータス (Status):** Includes a '結合した' (Combined) section with radio buttons for '全て' (All), '未処理のデータシート' (Unprocessed Data Sheet), and 'なし' (None). There is also a 'シリアル' (Serial) section with checkboxes for '未開封' (Unopened), '開封' (Opened), '承認済みデータ' (Approved Data), '拒否' (Rejected), '編集' (Edit), '送信者による取り消し' (Cancellation by Sender), '送信先での処理中' (Processing at Recipient), and 'フォローアップ' (Follow-up).
- サプライヤー (Supplier):** Includes a '組織' (Organization) dropdown and a checkbox for 'サプライヤーで検索可能' (Searchable by Supplier).
- 検索結果 (Search Results):** A table with columns: 'タイプ' (Type), '名称' (Name), 'IDバージョン' (ID Version), '部品番号,材料コード' (Part Number, Material Code), '送信日' (Transmission Date), '送信元 [ID-No.]' (Sender [ID-No.]), 'ステータス' (Status), '最終ステータス変更日' (Final Status Change Date), and 'フォロー' (Follow). The table contains several rows of data, including 'CAP SUB-ASSY, AIR CLEANER', 'CLEANER ASSY, AIR W/ELEMEN', 'Grommet, Parts', 'HARNESS, SUB-ASSY', 'BLOWER ASSY, W/SHROUD', and 'Nameplate'.

## <参考> 転送

- ・IMDSでは、仕入先から受領したデータを編集することなく、納入先に報告することが可能です。『転送』といいます。主に、商社の方がデータを加工することなく送信する場合に用います。

### <転送用データの作成>

初期画面の『データシート/モジュール検索』で検索をはじめると、転送操作ができませんのでご注意ください。

ステータスが『承認』でないと転送バージョンを作成できません。

①承認したデータに対し、右クリックすると、メニューが表示されます。

②『転送』を選択します。

バージョン	部品番号,材料コード	送信日	送信元 [ID-No.]	ステータス	最終ステータス変更日	フォロー
27	Hom Assy, High Pitch	4/19/18		承認		
43349	Circuit Breaker (F08119K)			承認		

- ・以下のメッセージが表示されます。



このデータシートの転送バージョンが作成されます。  
構成情報は編集できません。  
転送バージョンは、社内送信か全送信のみが可能です。

- ③『OK』をクリックします。



転送バージョンデータシートができるので、サプライヤー情報、送信先情報を入力します。

① サプライヤー情報タブを選択します。

② プルダウンメニューで、コンタクトパーソンを選択します。

Supplier Taro

・IMDSでは、データシート毎にサプライヤー情報（コンタクトパーソン）の登録が必要です。

③ 送信先情報タブを選択します。

④ 『送信』、または、『全送信』ボタンをクリックします。

# <参考> データの送信方法の違いIMDS IDのバージョンについて

- ・弊社にデータを送信する際は、IMDS IDのバージョンは、整数でも小数でもかまいません。
- ※小数：送信      整数：全送信

	使用する場合	IMDS IDのバージョンについて
①送信	・バージョンが小数点のデータを納入先に送信する場合。	・バージョンは小数のまま送信先に届き、送信先が承認すると整数になります。
②社内送信	・データを確定（バージョンを整数にする）する場合。 （他の部品で参照する場合は整数にする必要がある。） ※社内の子部品の作成部署でデータを登録してデータを確定させ、親部品の作成部署で利用する場合。	・バージョンは小数から整数になります。 ・データを送信する場合は、全送信を用います。
③全送信	・社内送信したデータを送信する場合。 ・複数の送信先に送信する場合（※）。 ・バージョンが小数点のデータをバージョンを整数にして納入先に送信する場合。	・いずれの場合も、バージョンが整数で送信先に届きます。 ※全送信は、2つの送信先企業IDに、企業/組織の関係があるとき、送信できませんのでご注意ください。
④転送	・送信元から受領したデータを他の送信元にデータを修正することなく、そのままの状態を送信する場合。	・そのまま送信すると、バージョンは小数で送信先に届き、送信先が承認すると整数になります。 ・社内送信、全送信すると整数になります。

# <参考> JAMAシートでの材料情報に基づくIMDSコミッティ材料の入力方法

- ・IMDSでは、公的規格でIMDSコミッティ材料のある場合は、IMDSコミッティ材料を用いるルールとなっています。  
IMDSコミッティ材料のある場合は、手入力しないようにしてください。
- ・IMDSコミッティ材料は、JAMAシートで材料を選択入力したとき、Node ID [材料]が指定されている材料に相当します。このような材料は、以下の手順で、IMDSコミッティ材料を入力してください。

## JAMAシートでの確認手順

<例：Stainless Steel SUS316LN >

(1)対象材料を表示させます。この場合：材料名称：Stainless Steel SUS316LN』

13	14	15	16	17	18	19	20	23	24	25	28	33	34	35	36	37	38
構成材料名	材料品名	材料重量 [g/構成部品]	材料規格	材料コード [金属・その他]	材料記号 [樹脂・ゴム]	VDA材料分類 コード	化学組成 記号	プロセス 記号	化学組成 記号	化学組成 記号	化学組成 記号	化学組成 記号	Node ID [製品] [IMDS管 理]	Node ID [材料] [IMDS管 理]	Node ID [化学] [IMDS管 理]	社内材料コード	
Stainless Steel SUS316LN		JISG4303	SUS316LN			1.1.2	1		7440-44-0	Carbon	0.015		74819755	995			
Stainless Steel SUS316LN		JISG4303	SUS316LN			1.1.2	2		7440-21-3	Silicon	0.5			3082			
Stainless Steel SUS316LN		JISG4303	SUS316LN			1.1.2	3		7439-96-5	Manganese	1			2301			
Stainless Steel SUS316LN						1.1.2											
Stainless Steel SUS316LN						1.1.2											
Stainless Steel SUS316LN						1.1.2											
Stainless Steel SUS316LN						1.1.2											
Stainless Steel SUS316LN						1.1.2											
Stainless Steel SUS316LN						1.1.2											

(2)『材料コード』を読み取ります。  
この場合：SUS316LN

Node ID[材料]が指定されています。  
この場合：74819755

# <参考> アプリケーションコード (1) 入力方法

・IMDSでは、規制された物質を使用する場合、どのようにそれを使うかをアプリケーションコードを使って申告しなければなりません。(IMDSユーザマニュアル ■ P62 )

①鉛等を含む材料を選択します。

②アプリケーションコード欄を表示します。

③『-』をクリックします。

④選択画面が開きますので、適切なアプリケーションコードを選択します。

⑤『適用』をクリックします。

⑥法規の文章、および、アプリケーションコードが入力されます。  
この場合： 8(e) - Lead in high melting temperature type solders (i.e. lead-based alloys containing 85 % by weight or more lead)

アプリケーション	化学物質	% (MAX)	アプリケーション ID1
Lead	Lead	96.5	-

アプリケーション	化学物質	% (MAX)	アプリケーション ID1
Lead	Lead	96.5	8(e) - Lead in high melting temperature type solders (i.e. lead-based alloys containing 85 % by weight or more lead) [57]

# (2) アプリケーションコードの記入の注意事項

## <記入ルール>

・アプリケーションコードは、製品の用途に合ったコードをご記入ください。

※鉛を不純物として0.1%以下で記載する場合は、アプリケーションコード 44を用いて報告してください。また、44～47以外のコードの場合は意図的に使用しているはずなので、最小値に0を入れることは避けてください。これらについてデンソー納入先から依頼された場合、修正をお願いさせていただくことがあります。

・デンソーへの報告時、**以下の表のアプリケーションコード (ID) は使用しないでください。**

※製品の適用除外項目の変更（アプリケーションコードの細分化）、アプリケーションコードの無効化（13,16,58等）に該当する場合、報告済データの更新をお願いする場合があります。

化合物	アプリケーションコード (ID)	アプリケーションコードの定義： APPLICATION(日本語参考訳)	EU ELV指令
鉛および鉛化合物	13	電子回路基板用およびその他の電気部品用のはんだ ※IMDSで新規使用禁止	(旧) 8
	16	鉛を含むガラスまたはセラミック母材の電気部品。ただし、電球のガラスおよび点火プラグのガラス釉薬を除く。 ※IMDSで新規使用禁止	(旧) 10
	58	コンプライアントピン・コネクタシステム中の鉛 ※IMDSで新規使用禁止	(旧) 8 ( f )
	20	その他の用途 (使用禁止の可能性有り)	-
6価クロム化合物	21	防食コーティング	13(a)
	22	モーターキャラバンの吸収冷蔵庫	14.
	20	その他の用途 (使用禁止の可能性有り)	-
	49	シャシー用途のボルト及びナットで腐食防止コーティング	13(b)
カドミウムおよびカドミウム化合物	29	電気自動車用バッテリー	16
	28	圧膜ペースト	-
	50	ドライバーアシストシステム用ガラス製光学部品	-
	20	その他の用途 (使用禁止の可能性有り)	-
水銀および水銀化合物	25	ディスチャージランプおよびインストルメントパ° 視照明	15(a),15(b)
	20	その他の用途 (使用禁止の可能性有り)	-



# <参考> 材質表示

## <記入ルール>

以下の材料分類、材料質量のとき、対象材料の上位の部品に材質表示を入力します。

基準値：「VDA分類5.1.xまたは5.4.x」かつ「100g超」

「VDA分類5.2または5.3」かつ「200g超」

## <入力方法>

①材質表示の必要な材料（PPS）の上位の部品を選択します。

②材質表示の選択メニューが、プルダウンメニューに表示されますので選択します。

- ・はい（依頼元OEMの規定通りに材質表示が行われている）
- ・いいえ（要求されているにも関わらず材質表示が行われていない）
- ・該当しない（質量、形状の制限、表面処理の仕様により部品に材質表示を行う必要がない）

## <特に注意していただきたいポイント>

- ・「N（いいえ）」は、材質表示が必要にもかかわらず、表示されていないことを意味しており、通常では想定されない場合を意味しています。「N（いいえ）」で回答しないでください。  
※質量が基準値以下で材質表示がされていない場合、「N/A（該当しない）」で回答してください。
- ・ASSY購入品における構成部品もVDA分類、質量の条件に合致すれば、材質表示の回答が必要です。

## <お願い>

- ・IMDSの操作方法は、IMDSのマニュアル、レコメンデーションをご確認ください。  
また、ご不明な点がありましたら、IMDSサービスセンターにお尋ねください。
- ※弊社では、IMDSの操作方法的質問は受け付けておりません。

## <お問合せ先（操作方法等）>

- ・IMDSの操作方法・登録・入力方法・データ作成方法・教育・マニュアル・ルール・設定方法等に関するご質問は、下記にお願いいたします。

### <IMDSサービスセンター>

<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/imds-service-centers>

9:00am - 5:00pm (土日祝日除く)

03 4530 9270      [jpimds-helpdesk@dxc.com](mailto:jpimds-helpdesk@dxc.com)